

Compliance Communication

<マネジメント分野>

管理部門のためのカウンセリング入門研修

メンタルヘルスの基礎知識と傾聴の技法を学ぶ。

標準時間

7時間(1日)

受講者数

20名程度まで

対象者

管理部門の責任者・担当者

メンタルヘルスは持続的経営のための基盤

管理部門は、職場のメンタルヘルスケアを推進して いく過程において、社員の日々の仕事や職業生活を 通じた強い不安、悩み、ストレスを敏感に察知し、 受け止め、臆することなく適切に対応することが求 められます。

本講座では、メンタルヘルスケアを推進する上で必 要不可欠な知識を学習するとともに、心理カウンセ リングの基盤となるスキルである「傾聴」を実習し ます。

すべては「聴く(傾聴)」ことから

クライアント カウンセラー 自己対話 自己一致 自己開示 自己理解 肯定的配慮 傾聴 受容、応答 自己受容

研修概要

> ゴール

- メンタルヘルスに関する知識を身につける。
- カウンセリング(傾聴)スキルを体感する。

▶ 進め方

- ・ 午前は、講義を中心に知識学習を行ない、 メンタルヘルスをめぐる状況を概観し、そ の阻害要因について学習します。
- ・午後は、講義を通じて「傾聴」の意義を知 識として理解した後、グループ実習を通じ て「傾聴」の技法を実習します。

▶ 特長

- · 本講座は、メンタルヘルスに関する基礎知 識を短時間で、かつポイントを押さえなが ら学習します。
 - 「傾聴」の技法を扱う実習に時間の多くを 割くことで、「聴く」ことの重要性、難し さを体感します。

プログラム例

□ オリエンテーション

- ・メンタルヘルスとは
- ・職場のメンタルヘルスをめぐる状況

午 前

・メンタルヘルスと法令: 指針

□ ストレスとストレス反応

- ·ストレスとは何か
- ・ストレスの要因
- ・ストレスへの対処

□ 傾聴の意義

в

- 傾聴とは
- ・傾聴の意義

後

- ・傾聴の前提となる考え方と基本的態度
- ・傾聴の効用と限界

□ 傾聴の技法

<グループ実習>

- ①場面構成とかかわり行動演習
- ②対話実習「制限されたコミュニケーション」
- ③対話実習「共感的理解の体験」
- ④対話実習「受容と応答その他技法」

□ カウンセリングのプロセスと傾聴

- ・カウンセリング4つの段階
- ・留意点とまとめ

※本研修プログラムは一例です。お客様の人材育成課題をお聞きした上で、カスタマイズしてご提供いたします。

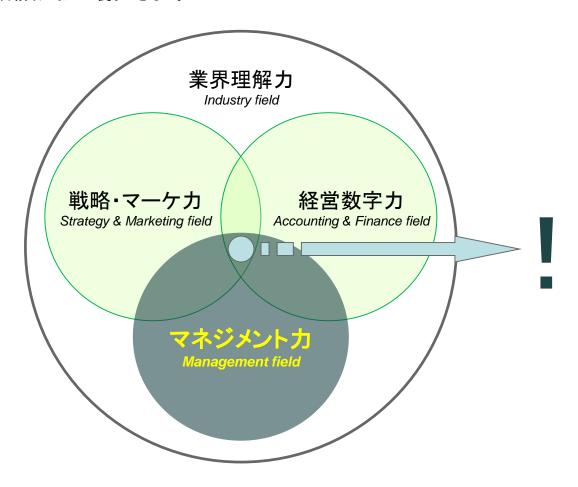
本講座の位置づけ

経営感覚養成研修では、経営感覚を以下のように位置づけています。

業界固有の商慣習や数字をおさえる

"商いの仕組み"(業界理解力) Industry field "儲けの仕組み"(経営数字力) Accounting & Finance field "売れる仕組み"(戦略・マーケティングカ) Strategy & Marketing field "管理の仕組み"(マネジメントカ) Management field

これらの融合領域において養うべきもの。



お問い合わせ先

株式会社アジア・ひと・しくみ研究所 講師派遣グループ TEL 022-399-9299 FAX 022-399-9736 E-mail info@ahsi.jp

会社概要

社名 株式会社アジア・ひと・しくみ研究所 (ASIA HUMAN&SYSTEM INSTITUTE, LTD.)

代表者 新井 健一 設立 2014年1月20日

所在地 《仙台本社》〒981-1106 宮城県仙台市太白区柳生7-20-10 Patio irisB 101

TEL 022-399-9299 FAX 022-399-9736

業務概要 経営支援、講師派遣及び地域活性

HP http://ahsi.jp

東北で働きたい。日本を広く使おう! Asia Human & System Institute